

科学研究費助成事業

「カタストロフィの想像力:ドストエフスキー文学の現代的意味とその世界展開」

Kaken "Imagination of Catastrophy; Comtemporary Meaning of F. M. Dostoevsky and its World Expantion"

International Dostoevsky Workshop &

ドストエフスキー国際ワークショップ&シンポジウム 「ドストエフスキーの世界性」

Symposium "Dostoevsky and Us"

来る2021年、フョードル・ドストエフスキーは生誕200年を迎える。その喜ばしいときを前に、世界の文学愛好者の間にドストエフスキー・ルネサンス到来の予感がみなぎりはじめている。AIやバイオテクノロジーが支配するグローバル社会にあって、ドストエフスキーの文学は、なぜこれほどにも現代人の心をとらえるのか。その「現代的意味」そして「世界性」とは何なのか。

入場無料
申し込み要
なお当日参加も可

日時 2020 2月22日 土

10:00~17:30

会場 名古屋外国語大学511教室

第1部 国際ワークショップ 10:00~12:00

◆「多様なドストエフスキー」

報告者

望月 哲男 (MOCHIZUKI Tetsuo 中央学院大学)

林 良児 (HAYASHI Ryoji 名古屋外国語大学)

梅垣 昌子 (UMEGAKI Masako 名古屋外国語大学)

オリガ・フォーキナ (Olga Fokina モスクワテレコム)

第2部 特別プログラム 13:00~14:30

共催: 名古屋モーツァルト協会

◆「賭博者の世界」

紹介

「ドストエフスキーの『賭博者』」

亀山 郁夫 (KAMEYAMA Ikuo 名古屋外国語大学)

講演

「プロコフィエフの『賭博者』」

高橋健一郎 (TAKAHASHI Kenichiro 札幌大学)

第3部 国際シンポジウム 15:00~17:30

◆ 基調講演

「《信仰の象徴》としての『カラマーゾフの兄弟』」

通訳付

パーヴェル・フォーキン
(Pavel Evgenievich Fokin ロシア国立文学博物館)

司会進行 沼野 充義 (NUMANO Mitsuyoshi 東京大学)

コメンテータ 望月 哲男 (MOCHIZUKI Tetsuo 中央学院大学)

パネリスト 番場 俊 (BAMBA Satoshi 新潟大学)

亀山 郁夫 (KAMEYAMA Ikuo 名古屋外国語大学)



基調講演者紹介

パーヴェル・フォーキン

Павел Евгеньевич Фокин
Pavel Evgenievich Fokin

1965年、カリーニングラード生まれ。現在、ロシア国立文学博物館研究員、モスクワ・ドストエフスキー博物館長。カリーニングラード大学出身。ロシアドストエフスキー協会、国際ドストエフスキー協会、プーシキン、ドストエフスキー、ローザノフ、ソルジェニーツィン、A・ジノヴィエフらについて100を超える論文を執筆、先鋭な問題意識と博覧強記を武器に「むきだしの古典」シリーズでは15冊におよぶ著書を執筆している。ドストエフスキー関連の著書としては、「むきだしの古典」シリーズのもの以外に、『ドストエフスキー再読』(2013)が知られる。また、ウラジーミル・ヴィソツキー全集の編纂者としても知られる。最新著としては、「偉人伝説書」の一巻として出た『アレクサンドル・ジノヴィエフ 追放されたプロメテウス』(2016)が話題を呼んだ。

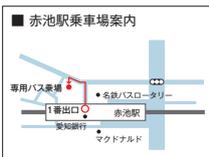
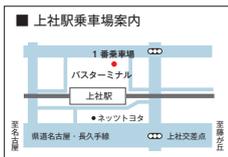
日本ドストエフスキー協会 シンポジウム参加申込フォーム
<https://req.qubo.jp/wlac/form/20200222>

当日参加も可能ですが、準備の都合がありますので、事前のお申し込みをお願いします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んで頂く、上記URLをパソコン等で直接入力して、フォームに必要事項を入力、送信してください。



■ 本学へのアクセスについて ■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



問合せ先

日本ドストエフスキー協会

mail: dsjn_gg@nufs.ac.jp



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。



※会場の温度調整が難しいため、調整しやすい服装でお越しください。

Facebook